

平成24年度 病虫害発生予察情報 注意報 第3号

平成24年6月29日
発表：福島県病虫害防除所

- 1 対象作物：果樹
- 2 病虫害：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
- 3 対象地域：県内全域
- 4 発生量：多い

予報の根拠

- (1) フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数が6月以降急増した。6月1～4半旬の誘殺数は、県内すべての調査地点で過去5年平均より多い状況である（表1、図1）。
- (2) 果樹カメムシ類によるリンゴ果実の被害やモモ園地への飛来が確認されている。
- (3) 本年のスギ、ヒノキの花粉飛散量は、例年より少なく（平成24年4月19日発表環境省プレスリリース）、果樹カメムシ類の餌となる毬果の量が少ないと考えられる。そのため、餌不足により果樹カメムシ類の新世代成虫が園地へ飛来すると予想される。

表1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（6月1～4半旬）

	平成24年 (a)	23年	22年	21年	20年	19年	平均 ¹ (19～23年) (b)	平均比 (a/b)
福島市沖高	46	0	8	0	0	—	2.0	23.0
福島市大笹生	19	24	15	2	0	0	8.2	2.3
国見町	41	21	22	—	—	—	21.5	1.9
郡山市	9	6	3	7	1	7	4.8	1.9
須賀川市	26	0	10	1	7	4	4.4	5.9
鏡石町	38	2	0	—	—	—	1.0	38.0
会津美里町	4	3	4	3	0	0	2.0	2.0
会津坂下町	109	0	0	—	—	—	0.0	—
相馬市	48	38	5	4	2	4	10.6	4.5
いわき市	46	13	10	2	0	3	5.6	8.2

1 福島市沖高は過去4年、国見町、鏡石町、会津坂下町は過去2年の平均

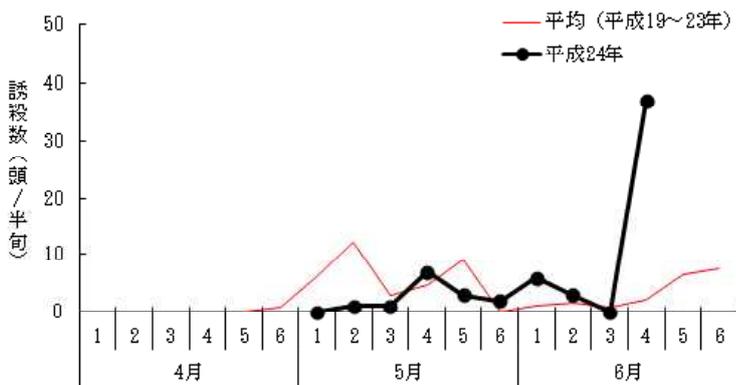


図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（いわき市）



図2 チャバネアオカメムシ

防除対策

- (1) 園地へカメムシ類の飛来が認められた場合、病虫害防除指針等に基づき薬剤を選択して散布する。なお、合成ピレスロイド剤や一部のネオニコチノイド剤は、ハダニ類やカイガラムシ類などの多発を引き起こすことがあるので注意する。
薬剤散布の際は、広域的に実施した方が効果が高いので、地域内で一斉に防除できるように配慮する。
- (2) キリ、スギ、クワ、クズ、ハギなどはカメムシ類の餌となるため、園地周辺にこ

これらの植物がある場合、よく観察し防除のタイミングを計る指標とする。

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください。 TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727